

結婚、出産、子育てにやさしく選ばれるまちづくりの推進



切れ目のない支援により、安心して子どもを生み、子育てできる環境づくりの更なる充実を図る

結婚

妊娠・出生

未就学児

小学校
中学校

高校
大学等

令和6年度からの新たな取り組み

NEW

出会い プロジェクト

- ・(株)ウレカと出会い促進に係る連携協定を締結 (R5.11)
- ・恋活婚活マッチングアプリ「ペアーズ」利用1か月分のギフトコードの提供
- ・婚活セミナー開催 など

特定不妊治療費の一部補助

- ・特定不妊治療、男性不妊治療費の補助

産後ケアの充実

- ・産後2か月までの産婦の授乳相談利用料の補助

地域子育て支援センター開設

- ・旧新所幼稚園に2か所目のセンターを開設（発達相談支援機能を付加）
- ・民間こども園等と連携し、西部地域へ3か所目のセンターの開設準備

NEW

中学校給食費無償化

- ・対象：市立中学校等に在学の生徒（約1,500人）
- ・開始：令和6年10月

NEW

多子世帯修学支援

- ・対象：こども3人以上世帯
- ・内容：第3子以降が中学・高校に入学する際の学用品購入費用を支援

NEW

いじめ対策

- ・市長部局にいじめ防止対策準備室を設置
- ・教育委員会に常設の第三者委員会を設置
- ・スクールロイヤー、生徒指導相談員の活用

令和5年度までの主な取組

新婚さん「こさい」へおいでん新生活応援金 (H30～)



子育て関連情報のプッシュ型配信 (R5～)



小学生～高校生まで医療費無償化 (H30～)

マタニティタクシーの補助 (R4～)

保育料第2子以降無償化 (R5.9～)



妊娠出産時家事援助サービス等利用費補助 (R5～)

放課後児童クラブ運営



住もっか「こさい」定住促進奨励金 (R元～)

出逢い促進プロジェクト（婚活支援）



国内最大級の恋活・婚活マッチングアプリ「ペアーズ」と連携。オンラインセミナーなどを通じて結婚を希望する独身男女の出逢いの機会を創出します。

（連携内容）

市内在住、在勤者を対象とした事業

（例）・恋活・婚活に関するオンラインセミナー

- ・「ペアーズ」を1カ月利用できるギフトコードの提供
- ・ペアーズの利用方法、過去のセミナー動画等の視聴

特定不妊治療費の補助

保険診療適用外で全額自己負担となった治療費の一部を補助します。

（補助額）

対象治療費の1/2の額

*上限有

*女性の年齢・補助回数
制限有

産後ケアの充実

産後の授乳相談のための利用料を補助します。

1. 対象者
産後2か月頃までの産婦
2. 内容
 - ・湖西病院の助産師外来
又は在宅助産師が、訪問して行う授乳相談の利用料を補助



未就学児

小学校 中学校

高校 大学等

地域子育て支援センター開設

- 旧新所幼稚園を子育て支援拠点としてリニューアル
- ・遊びの広場開放や保護者等向け講座の開催
- ・発達相談への対応可能な専門職員を常駐
- 民間こども園等と連携し、西部地域へ支援センター開設を準備



中学校給食費の無償化

市立中学校や特別支援学校
中学部に在学する生徒を
対象に、給食費を無償化
します。(R6.10～)



いじめ対策

- 市長部局にいじめの早期発見・解決等を担う専門部署の設置
- 教育委員会に常設の第三者委員会を設置
- スクールロイヤー・生徒指導相談員の活用

多子世帯修学支援

中学や高校に入学する第3子以降の子を対象に学用品費用等の一部を補助します。

（補助額）

- ・中学：5万円
- ・高校(全日制)：8万円
- ・高校(定時制)：3万円
- ・高校(通信制)：3万円

モノづくり産業振興の推進

モノづくり人材の育成

○地域の仕事に対する**理解と愛着**を持ってもらい、将来湖西市で活躍する**人材育成のきっかけ**をつくる

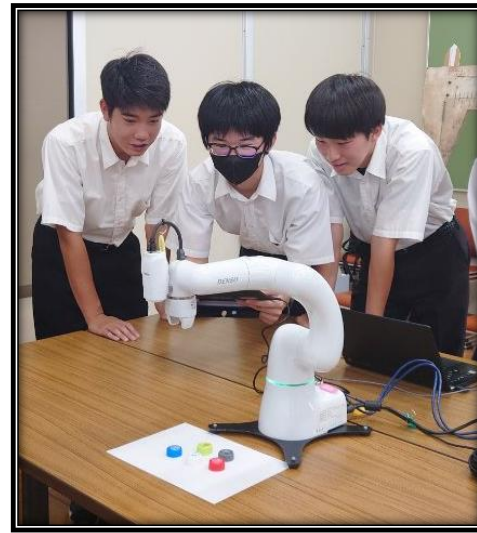
- ◎工場見学や出前講座のほか、モノづくりのイベントを開催し、子ども達にモノづくりに触れる機会を増やす
- ◎「**高校生職業訓練**」の**拡充**（対象者を市内在学から**在学・在住へ拡充**、新居高校による**科学系カリキュラムの拡充**など、地元企業と連携した新たな授業支援）



【工場見学】



【キッズフリマ】



【高校生職業訓練】

産業ネットワーク化の推進

○モノづくり人材の育成や中小企業の支援を一体的に進める**ネットワーク化を推進**

- ◎今までのステークホルダーとの会議に加え、**市内金融機関との定期的な会議**を開始
- ◎**企業支援サイト**の充実、**補助金診断システム**の活用促進や事業者向け**LINEの配信**（毎月第2・第4火曜日）など、あらゆる手段を活用した**情報発信の強化**
- ◎**Instagram**を活用した**相互の情報共有・発信**
- ◎**スタートアップ等**と連携した**実証実験**の実施



【企業支援サイト】



【事業者向けLINE】



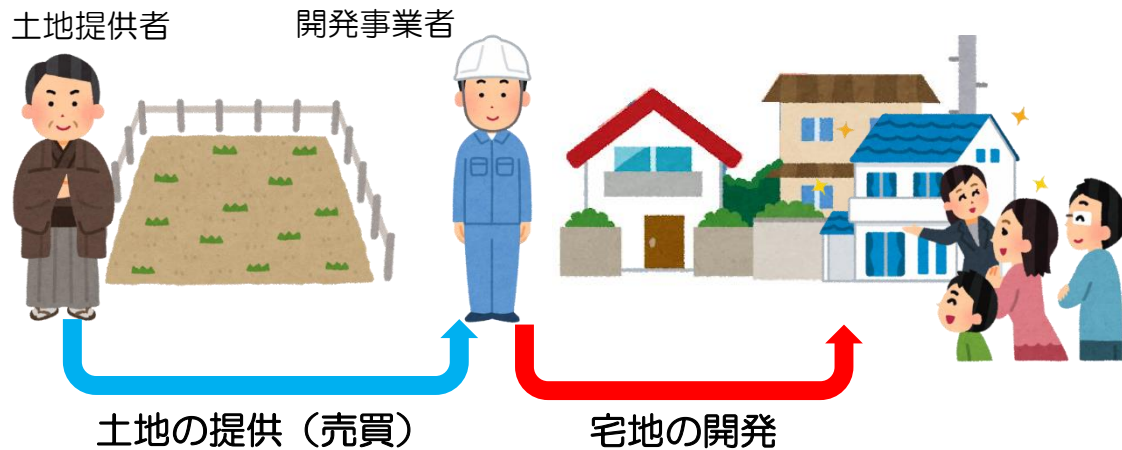
【補助金診断システム】



【産業ネットワークイメージ図】

土地利活用の一体的推進 ～住宅用地の確保～

民間の宅地開発の促進 (R3.10～)



- 民間の宅地開発を促進するために奨励金を創設
 - ・土地提供者に対し、1人最大200万円
 - ・宅地開発事業者に対し、1事業につき最大1,000万円

NEW 賃貸住宅の建築促進 (R6.10～)



- 賃貸住宅の建築促進のために奨励金を創設
 - ・賃貸住宅の所有者に対し、1戸あたりの延べ床面積に応じて奨励金（上限あり）
 - ・特に子育て世帯向けの賃貸住宅建築を奨励

- 職住近接による、持続可能な集約・連携型のまちづくりへ
 - ・まちなかにある未利用地を活用して宅地、賃貸住宅の増加を促進
 - ・子育て世代定住のきっかけづくり

新たな工業用地の確保

市内企業からのニーズに応えるとともに市外からの企業誘致を促進するため、工業用地の整備を推進

①バッテリーパークとバッテリーロードの整備推進

- ・浜名湖西岸地区に約50haの工業用地を整備（バッテリーパーク）
- ・トヨタ自動車が土地を購入、第3工場が建築中
- ・浜名湖西岸地区内の(都)大倉戸茶屋松線を整備（バッテリーロード）

②バッテリーパーク北側地区での整備検討

- ・新幹線を跨ぐ(都)大倉戸茶屋松線と沿道の面整備を一体的に推進

③バッテリーロード沿線で工業用地の整備検討

- ・内山地区で整備のための調査、調整を実施中

④浜松湖西豊橋道路IC予定地周辺の開発可能性検討

- ・用地開発の可能性を、調査等を通じて継続的に実施中



カーボンニュートラル(脱炭素)の推進



現状と課題

日本

- 令和2年10月に「2050年カーボンニュートラル」を宣言
- 2035年までに乗用車新車販売で電動車100%を実現
- ⇒ EVの場合、部品数がガソリン車の3万点から2万点に減少

世界

- 世界各国においてハイブリッド車を含むガソリン車の新車販売が今後禁止される（EUは2035年に事実上禁止）
- EUは、資源の採掘から生産、走行、廃棄に至るまでの全体でCO2排出量を評価する規制LCAの導入を検討
- ⇒ 脱炭素に対応できないとサプライチェーンから除外される恐れ

○自動車産業を中心にモノづくり産業を柱としている湖西市にとって、カーボンニュートラルへの対応は喫緊の課題

⇒ 脱炭素は地域が企業に選ばれるための大きな要素

湖西市版ゼロカーボンシティの構築

○環境と産業の持続可能な未来を実現するため、令和3年7月にゼロカーボンシティを宣言

<取組の4本の柱>

- ①省エネルギーの推進と再生可能エネルギー等の普及
- ②「モノづくり産業」の持続可能な発展に向けた産業支援
- ③オール湖西による脱炭素型社会の形成に向けた、地球温暖化に対する意識啓発
- ④行政におけるゼロカーボン化の推進

<令和4年度～>

- 再エネ導入等の目標設定を盛り込んだ地球温暖化対策実行計画を策定
- 中小企業等が省エネルギーの診断・分析に要した費用を助成
⇒ ムダの見える化、専門家からの改善提案
- 静岡県、愛知県の5つの金融機関（静岡銀行、浜松磐田・遠州・豊橋・蒲郡各信用金庫）とカーボンニュートラル推進に向けた相互協力及び連携に関する協定を締結（令和5年8月）
 - ・CO2排出量の見える化の推進
 - ・省エネ設備投資への利子補給 等

<令和6年度～>

- 中小企業等向けの省エネルギー設備への更新、個人向けの省エネ家電購入に要した費用を補助
- 慶應義塾大学との連携による国際標準の環境性能評価システムであるLEED認証可能性調査（持続可能なまちづくりへの活用）

バイオガス発電導入の検討(カーボンニュートラルの推進)

2050年までに温室効果ガス排出量実質ゼロを目指すため、**太陽光以外の再エネ電源**の導入を検討
 ⇒湖西版バイオガス発電の検討(次世代型バイオガス発電、市内污水处理の統廃合など)

湖西市地球温暖化対策実行計画

《地球温暖化対策取組方針》

環境と経済の好循環による持続可能なまちづくりと『職住近接』の実現に向けて、**2050年までに温室効果ガス排出量実質ゼロ※**を目指します。

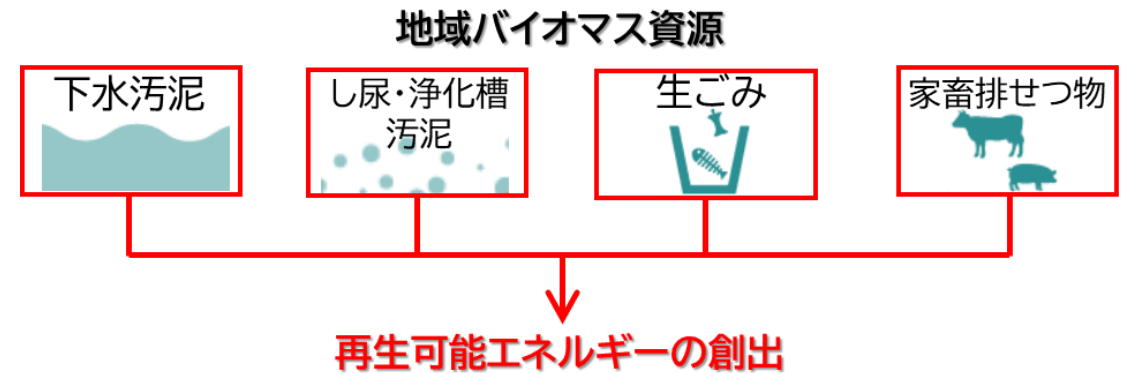
※ 二酸化炭素等の温室効果ガス排出量と吸収量の総和

《実行計画の目標》

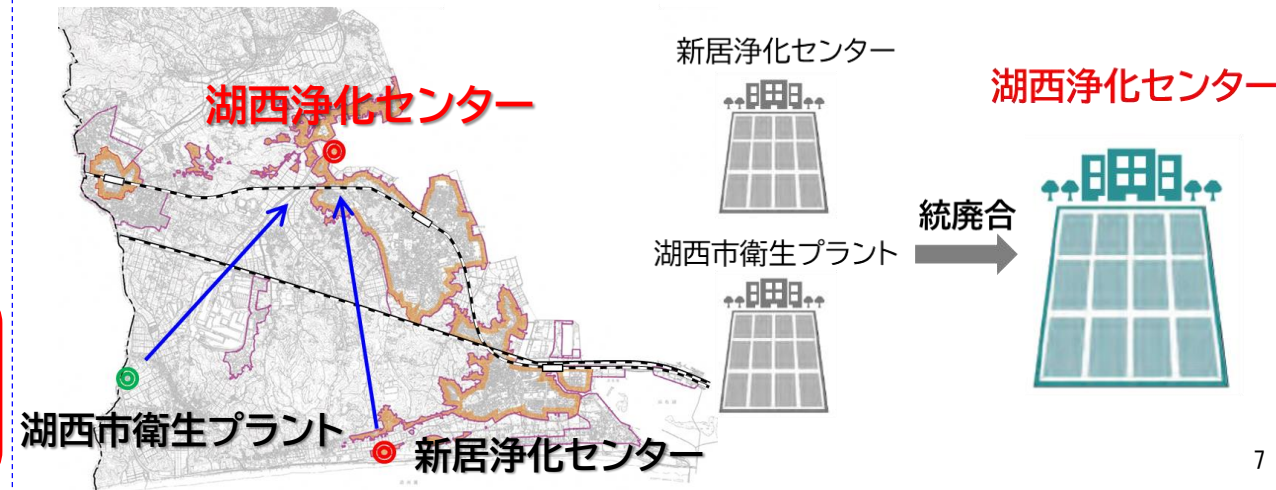
【中期目標】2030年度
 温室効果ガス排出量を2013年度比で**46%削減**を目指します

【長期目標】2050年度
 温室効果ガス排出量**実質ゼロ**を目指します

- ① 市内の様々なバイオマス資源を活用した湖西独自の次世代型バイオガス発電システムの検討を進めます。



- ② 市内の污水处理の統廃合と、バイオマス資源の活用過程で排出される水処理方法の検討を進めます。



湖西市ゼロカーボンシティ宣言の柱である「省エネルギーの推進と再生可能エネルギー等の普及」の検討を進めます。

検討内容 ①	検討内容 ②
バイオガス発電等再生可能エネルギー可能性調査	施設統廃合等可能性調査

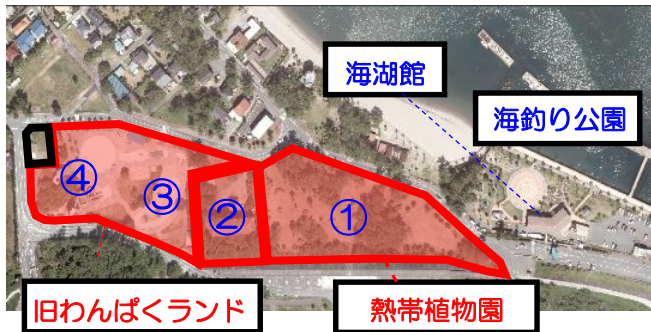
事業の実効性や脱炭素、地域社会への効果、貢献度など、地域社会に与える影響から総合的に勘案し、事業性を評価

令和6年度末までに事業実施の有無を決定

観光振興の推進(新たな観光拠点の整備)

新居弁天公園の再整備

新居弁天公園を年間を通じて賑わいが生まれ、市内外から人が集う魅力のある観光拠点“**浜名湖パークビレッジ**”として再整備



①② キャンプエリア・林間ピクニック広場

○ビジターキャンプエリア、車が入れるオートキャンプエリア、ペット同伴キャンプエリア

③ センターエリア・ドッグランエリア

- ランドマークとなるカフェ併設のセンターハウス
キッチンカースペース、飲食ベンチスペース
- 複数のドッグランと温泉足湯
- 地元グルメや農産物等を販売するマルシェを開催

④ 駐車場エリア

○約150台分の駐車場を整備。
公園来場者の他、釣り客等も利用可能

- 人と人、人と地域とのつながりを創出する場づくり
- 浜松市と豊橋市にはない湖西市の魅力の発信
- 地域の憩いの場づくりと観光スポット化

「職住近接」の推進



浜名湖花博2024と舟運の実証実験

浜名湖花博2024会場と湖西市を舟で結び、湖西市と浜名湖の魅力を発信
花博終了後も観光コンテンツとしての活用を検討



- ガーデンパーク会場と市内棧橋の舟運による連携
- 中根金作庭園等の整備
- 海湖館でのマルシェなど独自イベントの開催



DXの推進 ～デジタル・スマートシティの実現～



市民の暮らしを支え、利便性を向上させるため、DX(デジタルトランスフォーメーション)を推進
⇒「行かない・書かない市役所」へ

生成AIの活用

- ・ Chat GPT (生成AI)を業務に導入
SNS投稿文やイベント名考案などに活用し、**業務を効率化**



庁内DXを推進

- ・ フリーアドレスの試行
固定電話をなくし、スマホを内線化
- ・ 文書管理・電子決裁システムの導入の試行



取組の拡充

(例) ○交通事故防止、道路管理、公園遊具、不法投棄、災害対策、シティプロモーション等におけるデジタル技術の活用

行かない窓口

- ・ マイナンバーカードを活用した**電子申請**により、**市役所に行かなくても**自宅で証明書が取得できる**新たな電子申請サービス**を開始 (R5.1～)
- ・ 体育館や運動場等の利用を**オンラインで予約可能**に

LINEの活用



- ・ 欲しい情報を**LINE**で手軽に受け取り (R6.2～ 通報メニュー拡大)

書かない窓口

- ・ 外部アドバイザーや若手職員PTによる**窓口業務改善**の検討
 - ・ 窓口での**手書き申請**をなくし、必要手続きの案内を**デジタルで支援**
- ↓
- 「書かない窓口」サービスの開始 (R6.秋予定)**

企業シャトルBaaS

- ・ **企業のシャトルバス**に市民が乗車する際、**LINE**を使った**予約やバスの位置情報の確認が可能**に



スマートメーターの導入

- ・ **水道スマートメーター**で**使用料を自動検針**
※R9年度までに**市内全世帯に拡大**
- ・ 漏水状況を自動感知し、漏水警告等を**スマホへお知らせ**
- ・ **全国初の時間帯別水道料金プラン (オフピーク料金制)の実証実験継続 (R4～)**



dボタン広報スタート

- ・ テレビのリモコンの**「dボタン」**を押すだけで、**湖西市が発信する情報を確認**



企業との官民共創

株式会社ソーシャル・エックスが実施・運営する「逆プロポ・コンシェルジュ」サービスを導入し、官民共創による行政課題の解決を推進

住民ニーズや社会の抱える課題が多様化

自治体だけで全てを解決するのが困難に

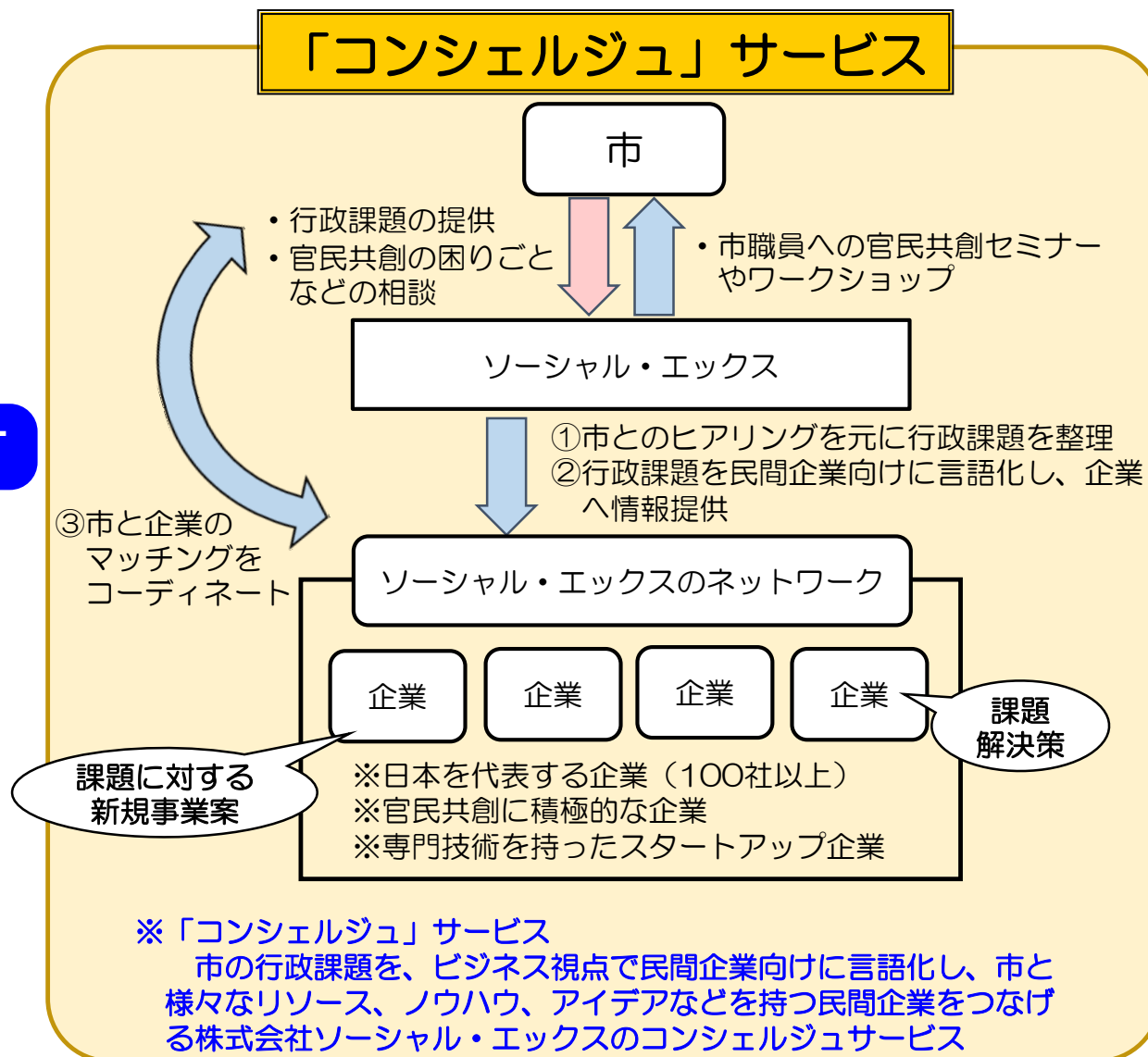
官民共創による課題の解決・新たな取組を目指す

- 民間企業の強み・知恵・スキルを生して
- ①行政だけでは対応できない行政課題の解決
 - ②民間企業とのネットワーク構築
 - ③市職員の官民共創文化の醸成



「逆プロポ・コンシェルジュ」を活用

官民共創による
行政課題の解決を推進



令和6年度の組織体制について

職住近接の推進による『持続可能なまちづくり』の実現に向け、各事業に戦略的に取り組むとともに、広域的な課題や多様化する市民ニーズに迅速かつ的確に対応し、市民サービスの更なる向上を目指して組織を改編することとする

環境部

<環境課>

「2050年湖西市版ゼロカーボンシティ」実現を目指し、令和5年度に策定する湖西市地球温暖化対策実行計画の取組をさらに加速させるため、体制強化を図る

➤ 『脱炭素推進室』を置く

こども未来部

<こども政策課>

市長部局におけるいじめの早期発見・解決等に向け、事業化の準備を行う

➤ 『いじめ防止対策準備室』を新設する

<こども未来課>

新居地区の「のびりん」に加え、旧新所幼稚園を改修し、発達に課題がある児童とその保護者に対する相談支援機能を付加した市内2カ所目となる子育て支援センターを開設し、係名を改める

➤ 「発達支援係」 → 「地域子育て支援第1係」 (仮)新所子育て支援センター
「子育て支援センター係」 → 「地域子育て支援第2係」 (仮)新居子育て支援センター

都市整備部

<土木課>

共通の業務のある係を統合し効率的な業務を図る

➤ 「管理係」と「用地・地籍係」を統合し「管理・用地係」とする

<都市計画課>

ハード事業とソフト事業を統合し、まちづくりの効率的な推進・進捗を図る

➤ 「市街地整備係」と「まちづくり企画係」を統合し「まちづくり係」とする

<都市計画課・建築住宅課>

空き家対策は、まちづくりの重要な業務であるため、建築住宅課建築住宅係から都市計画課まちづくり係へ所管替えを行う